みなさんの意見が学校づくりにつながっています！

前回（中間まとめ）、みなさんからいただいた意見は、学校づくりの話し合いで大切にし、今回のまとめにも反映しました。

みなさんからの意見

- 本を読んだり、調べ物ができる場所がほしい
- グループで話し合ったり、発表の練習ができる部屋がほしい
- 授業以外でも使える学習スペースがあるといい

- 友だちと話したり、遊んだりできる場所がほしい
- ひとりで落ち着いて過ごせる場所がほしい
- 他の学年の人や地域の人など、いろいろと関わることができる場所がほしい

- 体育館や校庭を、地域の人も使えるようにしてほしい
- 災害の時にも、安心できる設備を整えてほしい

▶▶▶

まとめへの反映

- いろいろな学び方ができる、みんなの学習スペース「ラーニング・コモンズ」の近くに、読書・調べもの・発表などに使える多目的室をつくります。
- みんなが様々な学び方で使える、柔軟な空間を整えます。

- 校舎のいろいろな場所をゆるやかにつなげて、自分に合った場所で過ごせるようにします。
- ひとりで落ち着ける場所（クールダウンスペース）など、いろいろな居場所を整えます。
- 学年の違う友だちや、地域の人などいろいろな人との出会いが生まれる場所をつくります。

- 日頃から地域の人も使える学校として、地域とのつながりを大切にします。
- 災害の時に、地域の人が避難できるように整えます。

発行：令和8年11月　武蔵野市教育委員会 教育企画課 学校改築係
TEL：0422-60-1972　FAX：0422-51-9264
MAIL：SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

過去のリーフレットをご確認いただけます ▶

<<武蔵野市教育委員会リーフレット>>　児童・生徒用

みんなで考えよう！
武蔵野市の未来の学校づくり vol.11

<<武蔵野市の学校づくり　ご意見ぼしゅう号>>

これから建て直す学校を、みなさんや将来の子どもたちが「**明日また行きたい！**」と思える学校になるように、校長先生や地域の方、専門家、市の職員がたくさん話し合いをして、考えをまとめました。
２ページ、３ページを読み、みなさんの意見を聞かせてください。

みなさんの意見を聞かせてください！

これからの学校を具体的に建てていく時の大切な参考資料になります。
みなさんの意見を自由に書いてください。

募集期間　11/12（木）▶12/2（水）
募集方法　回答フォームから書けます ▶ ▶ ▶
質　問　2ページ、3ページを読んで答えてください。

※いただいたご意見は、名前や住所などを除いて公表します。

保護者のみなさまへ

パブリックコメント

ご意見を募集します

募集期間　11/12（木）▶12/2（水）
募集方法　意見提出フォーム、郵送、ファクス、Eメール、直接持参

意見提出フォーム ◀　答申案 ◀

地域向け説明会

どなたでもご参加いただけます

開催日時・場所

11/21（土）10時～　@商工会館
11/24（火）18時30分～　@芸能劇場
11/25（水）18時30分～　@スイングホール

申込　不要。直接会場へ。

みんなが「明日また行きたい」と思える学校へ！

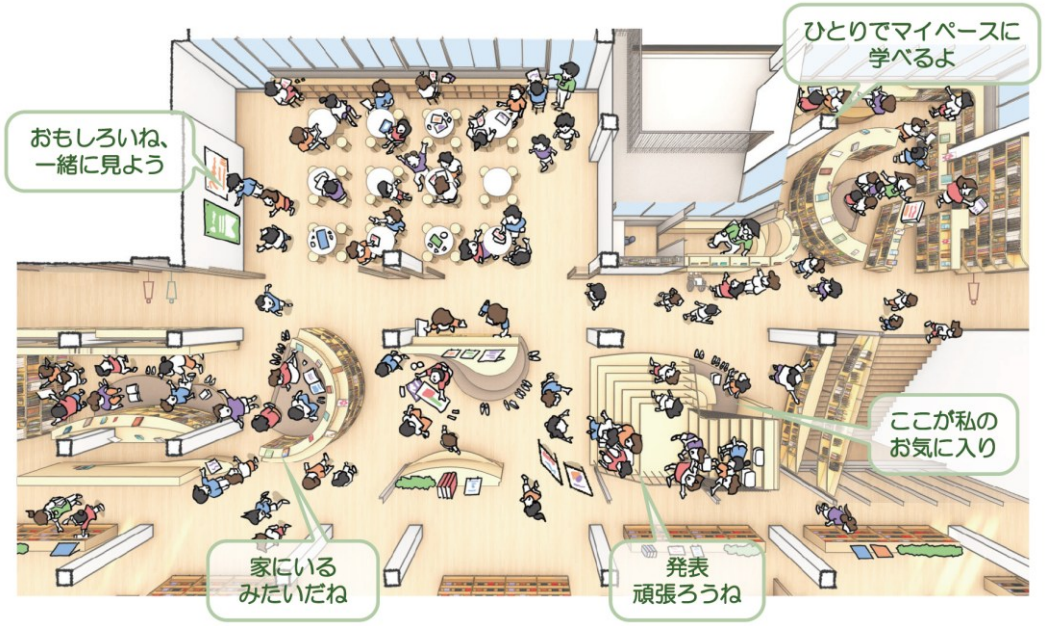
みんなにとって学びやすく、安心して過ごせる学校について考え、話し合いをしました。

① なぜ、学校のことを話し合っているの？

みなさんがこれからも楽しく学び、安心して過ごせる学校であるために、学校を建て直す計画を考えています。これから建て直す学校は、60年以上使う予定です。今だけでなく、未来も想像して、どのような学校にしていくかを話し合っています。

② どんな学校をめざしているの？

みなさんが「明日また行きたい」と思える学校をめざして、**校舎のいろいろな場所をつなげて、教室以外でも自分に合った学び方ができる学校**を考えています。



自分に合った場所で学べる

様々な人や学びに出会える

安心して過ごせる

③中学校の「ちょうどよい大きさ」は？

武蔵野市が考えるちょうどよい学校の大きさ

1学年４～６クラス

そのよさ

- いろいろな友だちと学べる
- 先生たちが協力しやすい
- 部活やイベントが充実する

これから中学生の数は少しずつ減っていく見込みです。20年後の中学生の人数と、ちょうどよい学校の大きさを考えると、市内の中学校は3～4校になります。具体的な方法は学校ごとに考えます。

第二中・第六中については、3つの案を比べて話し合いました。

案① 第二中＋第六中を一つにして新しい学校をつくる

案② 今のまま それぞれの学校を建て直す

案③ 小中をつなぐ 小学校と中学校が一つになった学校をつくる

④ほかにも、大切にしていることは？



地域の人たちとふれあえる学校



地震などが起きても、安心できる学校



安心してすごせる居場所がある学校



先生たちが元気に働ける学校